

点火棒の調整

- バーナーのヒンジピン(写真)を左右どちらかを抜きバーナーを開いて下さい。
注意点：作業をされる時は、電源の元スイッチが確実に切れている事を確認して、感電事故の無い様に十分な配慮をお願い致します。
- 作業終了後は電源の元スイッチ、ヒンジピン(写真)が確実に閉めて有る事を確認して下さい。



- バーナー先端に有ります、点火棒(写真)に付着していますスス・ほこり等を布で拭き取り掃除して下さい。
注意点：作業をされる時は、電源の元スイッチが確実に切れている事を確認して下さい。高圧電流が流れますので感電事故の無い様に十分な配慮をお願い致します。

- 布で掃除後、点火棒(写真)の間隔を3~5mm位に調節して下さい。間隔が広いと火花が飛ばず、狭いと火花が弱く着火不良が起きる原因に成ります。
注意点：作業をされる時は、電源の元スイッチが確実に切れている事を確認して下さい。高圧電流が流れますので感電事故の無い様に十分な配慮をお願い致します。
- 作業終了後バーナーを開いた状態で、スイッチのインチングで火花が飛ぶ事を確認後、バーナーのヒンジピンを左右確実ににはめた事を確認後、運転を開始して下さい。



保護リレー



- プロテクトリレーのリセットボタン飛び出しの確認をして下さい。
正常時のボタンは(写真左)の様に白い部分しか見えていません。バーナー停止時には(写真右)の様にボタンが飛び出して下部の赤い部分が見えるまで飛び出しています。
- バーナー停止の原因を確認修理後ボタンを押し込んで下さい。但し3分以内に押し込んででも入らない場合が有りますので少し時間を置いて下さい。



- マグネットスイッチのリセットボタンの飛び出しの確認をして下さい。
分かり難いですが正常時は(写真)の様に飛び出していませんが、バーナー停止時は飛び出しています。
- バーナー停止の原因を確認修理後ボタンを押し込んで下さい。

- 電気系統の故障かモーター系統の故障かの判断は、プロテクトリレーのボタンのみ飛び出して止まる場合は、電気系統の故障を疑って下さい。プロテクトリレー・マグネット共両方のボタンが飛び出している時は、モーターか油ポンプの故障の疑いがあります。
- 但し、マグネットのリセットボタンが飛び出す時はプロテクトリレーのボタンも飛び出します。

